

ID
氏名
年齢
科名

# インフリキシマブ療法(関節リウマチ)

[3 mg/kg]

疾患名 関節リウマチ

主治医 \_\_\_\_\_

HBs 抗原( + - ) HBc 抗体( + - ) HCV 抗体( + - )

スケジュール

		初回	2週目	6週目	14週目	22週目
		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
レミケード (インフリキシマブ)	3 mg/kg	↓	↓	↓	↓	↓
*4回目以降、増量・投与間隔短縮が可能						

【注意】 \*初回投与後、2週、6週に投与し、以後8週間間隔で投与。

\*6週目の投与以後、効果不十分又は効果が減弱した場合には、投与量の増量や投与間隔の短縮が可能。投与量の上限は8週間の間隔の場合、10mg/kg(登録レジメン:[増量:10mg/kg]を使用)、投与間隔短縮の場合、6mg/kg(登録レジメン:[増量:6mg/kg]を使用)であり、最短の投与間隔は4週間

\*1.2ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

◀1 - 3回目▶

① 生食 500mL にて血管確保 維持 (20 mL/時間)

② レミケード投与前

抗ヒスタミン薬( \_\_\_\_\_ ) ( \_\_\_\_\_ )錠 内服

カロナール錠(200 mg) ( \_\_\_\_\_ )錠 または NSAIDs( \_\_\_\_\_ ) ( \_\_\_\_\_ )錠 内服

③ レミケード + 生食 250mL

☆ 輸液ポンプにて 10 mL/時間で点滴静注

④ 10 mL/時間で 15 分間点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

☆ 輸液ポンプにて 60 mL/時間で点滴静注

⑤ 60 mL/時間で 15 分間点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

☆ 輸液ポンプにて 120 mL/時間で終了まで点滴静注

《4回目以降》

① 生食 500mL にて血管確保 維持 (20 mL/時間)

② レミケード投与前

抗ヒスタミン薬( ) ( )錠 内服

カロナール錠(200 mg) ( )錠 または NSAIDs薬( ) ( )錠 内服

③ レミケード + 生食 250mL

☆ 輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注

④ 100 mL/時間で 15 分間点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

☆ 輸液ポンプにて 300 mL/時間で終了まで点滴静注

	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目
月日	/	/	/	/	/	/
開始時刻						
確認						

	7 回目	8 回目	9 回目	10 回目	11 回目	12 回目
月日	/	/	/	/	/	/
開始時刻						
確認						

	13 回目	14 回目	15 回目	16 回目	17 回目	18 回目
月日	/	/	/	/	/	/
開始時刻						
確認						

	19 回目	20 回目	21 回目	22 回目	23 回目	24 回目
月日	/	/	/	/	/	/
開始時刻						
確認						